

山口とくち中学生ドリーム卓球大会

講師の皆様、卓球部の皆様、ご参加ありがとうございました！

○「子どもゆめ基金」の趣旨にある「子どもの体験活動等の振興を図る活動を提供する」ことを踏まえ、「子どもたちや指導者の技術向上」、「参加者同士の交流」、講師の先生からは「夢を現実にする生き方を学ぶ場」となった。

○12月26日（金）～27日（金）【男子の部】61名、12月27日（土）～28日（日）【女子の部】82名が参加しました。ダブルス・シングルスともにリーグ戦での試合形式で行い、2日間でより多くの試合を経験することができました。また夜には、講師の先生による卓球講座を開き、今後の練習に取り入れられる練習メニューを数多く紹介していただける貴重な時間となりました。

12/26～12/27



ソルトアリーナ防府に30台の卓球台を並べて、シングルス・ダブルスのリーグ戦を2日間に分けて行いました！



迫力あるラリーの応酬は、6年後に行われる「2020年東京オリンピック」での活躍を期待させてくれました！



講師に下関西高等学校教諭の藤澤住男さんをお招きして、「体育の教員ならではの、卓球競技の特性を踏まえたトレーニング方法」について、講習していただきました。試合前のウォーミングアップにおける体幹トレーニングの重要性や効果的なサーブの打ち方など、ご自身の競技人生や体験をもとに、中学生時代に大切な技術や心構えを伝えて頂きました。

12/27~12/28



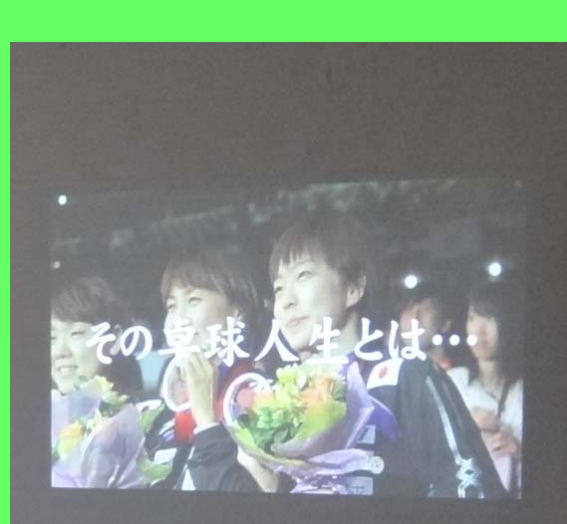
中学生にとって「2014年の最後」を締めくくる大会となりました！みんなで卓球して宿泊して、笑顔満点の2日間でした！



男女ともに激しいラリーの連続で、ダブルスの部もシングルの部も大変盛り上がりました！



たくさん子ども達の手へ賞状が渡り、笑顔と自信に満ちた表情が印象的でした！いつの間にか、他校の生徒とも仲良くなっています！



夜には講師に、山口県出身のメダリスト石川佳純選手のお父さんである石川公久さんをお招きして、「石川家の卓球ドリーム」と題して、石川選手の小学生時代からのエピソードやロンドンオリンピックでの裏話など、選手としての心構えやそれを支える家族の願いについて、実技や笑いを交えて語っていただきました。

参加者の声から

〇日頃、試合をたくさん経験できない選手にとって、「個人の予選リーグ・決勝リーグ」「ダブルス」と2日間たっぷり経験が積める良い機会でした。体を動かしながらの講義は、大変良かったです。卓球についても、生活体験についても、経験の少ない生徒たちにとって、かけがえのない2日間になったと思います。また機会があれば、参加させてください。